

令和元年度第1回福岡市スポーツ推進審議会 議事録

<開催日時> 令和元年6月27日(木) 13:30~14:25

<開催場所> アクロス福岡 606会議室

<出席委員> 13名(欠席3名)

上和田会長, 緒方副会長, 山川委員, 川口委員, 副田委員, 佐伯委員,
西村委員, 藤井委員, 早淵委員, 小森委員, 大谷委員, 案浦委員, 齋藤委員

<説明のため出席した事務局職員> 11名

三宅大規模スポーツ大会等担当部長, 鷲頭スポーツ推進課長,
宮本スポーツ施設課長, 重岡ラグビーワールドカップ2019担当課長,
野原世界水泳準備担当課長, 松本世界水泳準備担当課長, 近藤健康増進課長,
石橋研修・研究課長, 西田(公財)福岡市スポーツ協会事業課長 ほか2名

<議題>

(1) 「福岡市スポーツ振興計画」の改定に向けた現計画の振り返りについて

<報告>

(1) 第19回FINA世界水泳選手権2021福岡大会について

<協議要旨>

○ 議題1: 「福岡市スポーツ振興計画」の改定に向けた現計画の振り返りについて

(事務局)

- ・資料1に基づき, 「福岡市スポーツ振興計画」の改定に向けた現計画の振り返りについて説明

(委員)

- ・1つ意見だが, 最近, スポーツに携わる方が増えていると感じる。競技団体ごとの競技者数調査は難しいかもしれないが, 配付資料で示されている数字以上に増えている感じがする。
- ・バドミントンについて言うと, 全日本シニアの試合では, 80歳代の枠もある。県内でも70歳以上の競技者も増えている。

(事務局)

- ・ご意見の件は、調査結果にも表れており、配付資料の「参考3」の2ページに掲載している世代別・性別のスポーツ実施率で特徴的なのが、平成22年度の60歳代の方々、平成30年度では70歳代にあたるが、その伸びが顕著である。その他の年齢層においても、総じて実施率が伸びているのが見て取れる。

(委員)

- ・スポーツを「みる」について、実績値の61.5%というのは、スタジアムで観客として見る人だけの数字か。それとも、テレビ等で見る人も含まれるのか。

(事務局)

- ・テレビやインターネットで見る人も含んでいる。目標値については、テレビを見る方を含めれば、90%に達するのではないかと考え設定したものである。

(委員)

- ・スポーツを「支える」の主体は、個人のボランティアだと思うが、振り返りの資料では、いかに場を整えるかという行政の仕事が主体となっている。通常「支える」は、個人がボランティアにどう関わるかなどを記載すべきかと思うが、どうか。

(事務局)

- ・ボランティアは、スポーツを「する」と「支える」の両方に関連するが、ご指摘のとおり、メインは「支える」の方である。たとえば、特徴的なのが、福岡マラソンで、「する」はもちろん、「支える」についても、一般市民に呼びかけて、個人の方々にボランティアとして関わってもらっている。

(委員)

- ・「市民に分かりやすい学校施設の開放」について、各小学校の教頭先生に手続きの窓口となっていてはいるが、学校によって対応が違う気がする。たとえば、スポーツの用具を購入したいと相談したときに、「学校では予算がありません。」と言われる場合もあれば、「3万円以下なら購入できます。」と言われることもある。統一のマニュアルはないのか。

(事務局)

- ・学校施設開放の所管課は教育委員会教育環境課で、「学校施設開放の手引き」を作成し、運用している。

(事務局)

- ・学校によっては、児童が使う用具としての予算を確保しているところもある

が、学校開放としての予算をとっているところは少ないようである。

(委員)

- ・学校現場の実情を話すと、学校の教育活動に必要な用具を購入しているところである。学校施設開放のための用具購入は行っていない。

(委員)

- ・先日、サークル活動のバレーボールのネットを購入してもらったが、学校は、自分たちのために買ったということになるのか。

(事務局)

- ・備品は、教育活動に最低限必要なものとして揃えている。中学校は教育活動にバレーボールがあるし、小学校もネットを使った運動がある。地域での活動のための予算は用意できていない。
- ・地域で購入したものを学校で保管することについては協力している。

(委員)

- ・地域での活発なスポーツ活動は、行政が打ち出している、スポーツを「する」、「みる」、「支える」につながると思うが、その用具については、学校から好意的に貸していただいているということになるのか。
- ・また、競技の区大会等を行う際に備品を借りているが、これも学校の好意で貸してもらっているのか。

(委員)

- ・責任者から借用書をいただいて、それに基づき貸している。各チームで準備できるものは準備していただき、学校から貸し出せるものは貸している。何を貸し出せるかは学校の判断になる。

(会長)

- ・議題1について、了承ということによろしいか。

(各委員)

- ・了承

(会長)

- ・それでは、本日の議論を踏まえ、引き続き計画の改定作業を進めていただくとすることにしたい。

○ 報告 1 : 第 19 回 FINA 世界水泳選手権 2021 福岡大会について

(事務局)

- ・資料 2 に基づき，第 19 回 FINA 世界水泳選手権 2021 福岡大会について説明

(委員)

- ・資料にある行動指針の④，⑤について具体的なイメージを教えてください。

(事務局)

- ・詳細は検討中であるが，現時点でのイメージとしては，④については，オリンピックによる水泳教室の開催や，アクティブシニア層など普段水泳に関わらない方を対象とした健康づくり等のアクティビティ，ウォータースポーツを体験できる機会の創出などを考えている。
- ・また，⑤については，奉仕的な概念の強いボランティア活動を学びの場としてとらえ，ライフキャリアを豊かにすることにつなげてもらったり，ボランティアスタッフが主体的に誇りを持って業務に取り組めたりするような仕組みを作りたい。

(委員)

- ・2021 年の世界水泳は，マスターズも併催され，期間が長い。運営に携わる水泳協会の方は，自分の仕事もあり，期間の長さ戸惑っているのではないかと。
- ・それから，飛び込みについて，情報があまり伝わっていないようで，屋外で行われるのではないかとの情報も出ている。
- ・もう少し水泳協会と連携を密に取り，気持ちよく運営できる体制をとっていただきたい。

(事務局)

- ・組織委員会の副会長に，県水連の会長が就任されるとともに，実行委員会には県水連の理事長も入っている。
- ・また，今後，現場の運営に関する部会を立ち上げるなど，本格的な組織づくりを行う。その中で情報連携，共有ができていくと思う。
- ・マスターズ大会は，福岡市がメイン会場となるが，熊本市，鹿児島市でも実施するため，実行委員会には九州全県の県水連会長に入ってもらい，オール九州でやっていく。そのような運営の形が見えてくれば，不安は和らぐものと考えている。

○ その他

(委員)

- ・最後に、本日の議題には関係ないが、総合体育館について意見を言いたい。このように料金が高い体育館は他に無いと聞いている。コートサイドのパネル広告について、両面分の広告料金を徴収したいと言われた。
- ・また、選手のラケットのガットが切れるなどしたときに、ガットをはり直すための店舗の出店料も高く、1日で数万円となる。ガット修理のため、業者が出店することは必要であるが、有料大会ではないのに料金を徴収されることはどうかと思う。
- ・体育館の指定管理者へのお任せになっているのではないか。委員の皆さんに実態を知っていただきたく、大変失礼ながら発言させていただいた。

(事務局)

- ・具体的な話となるため、後程個別に説明させていただきたいが、どうか。

(委員)

- ・了解した。

(会長)

- ・以上で、本日の議題1件と報告1件は終了した。委員各位の円滑な会議の推進に感謝する。

○ 会議終了